

馬場ひでゆきの活動日誌

No.49

署名集めお疲れさまでした

市民団体「柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会」が、県民投票条例制定に向けて行ってきた直接署名活動が12月28日終了しました。

条例制定を直接請求するためには、県内有権者数の50分の1以上にあたる有効署名が必要となります。

法律上必要とされる署名数は、県内の有権者数181万6246人の50分の1の3万6325(①)の署名です。同会は、県民の願いを多くの

署名数で示そうとして、20万筆以上の署名を目標に掲げてきました。

まだ暫定ですが、12月29日時点で集まった署名は、県内全体で13万3968筆(②)になりました。

法定数の約3.7倍(②÷①)となり、直接請求の成立要件を大きく上回ったこととなります。また、20万筆の目標に対して約70%の達成率です。

上越市では、市民連合・上越が窓口になり、1万4141筆(目標達成率82.7%)、12月29日時点の集約数であり、変わる可能性あり)を集めました。署名活動に奔走された皆さん、お疲れ様でした。

私も署名集めました

署名活動は、10月28日から始まり、私も受任者(請求代表者から署名活動の委託を受けた人のこと)になりました。

途中で県議会が始まり、なかなか活動ができませんでしたが、議会が終わった後は頑張りました。特に12月27、28日は地元を廻り署名をお願いしました。

私がお願いをした方々の中には、「知人から勧められて署名しました」「図書館で声かけられたのもうしたよ」という人が結構いて、活動の広がりを実感しました。

29日は、署名を集約する事務所(栄町の民商会館1階)に向き、私の事務所所収集した署名を届けました。そして、集まった皆さんと署名数を確認し、とりあえずはお互いの労をねぎらいました。

今後の動き

署名簿は、「決める会」が各市町村の選管に提出し、その後各選管が署名の有効性を審査、縦覧に付し、有効署名数が確定されます。必要数を上回れば、「決める会」は、知事に対して条例制定を直接請求します。

知事は、その条例案に意見書を付して県議会に提案します。その後、条例案は県議会で審議、採決される予定です。

県民の要求と知事や議員の思惑などが真正面からぶつかり合います。私も、皆さんから選ばれた代表として頑張ります。

今後の流れ

全市町村で署名活動終了(2月1日)



各市町村の選管で署名の審査(20日間以内)



署名簿の縦覧(7日間)



有効署名数の確定



条例提案を知事に直接請求(3月中旬頃)



県議会の招集、採決(3月~4月頃)

署名たくさん 集まりました!

県内総数133,968筆!

原発再稼働の是非住民投票で

いよいよ意思を決める日へ

14,141筆集約

12月29日時点で集約した筆数です。

上越地区

馬場ひでゆきです

今年もよろしくお願いします

2025年

明けましておめでとうござい
ます。

● 柏崎刈羽原発の再稼働の是非
本年がヤマ場

今年は、表面で報告したとおり、県民の直接請求に基づいて、県議会に原発の再稼働の是非を県民投票で決める手続きを定める条例案が上程される予定です。

また、昨年末には、約11年にわたり柏崎刈羽原発の安全対策を議論してきた県の有識者会議「技術委員会」が報告書をまとめました。

これは、原発再稼働の判断の前提となる資料が出揃うことを意味します。花角知事が原発再稼働の是非について何らかの判断をする可能性もあります。

● あのとくに立ち戻り学び直す

2月の県議会では、私も一般質問をする予定です。

その準備もあって、現在、「どうして福島原発の過酷事故が発生してしまったのか」ということを一から学んでいます。本を読んで勉強するしかない



のですが、事故発生当時の新聞記事も併せて読み直しています。過去の記事を読むことで、過去の記憶がよみがえります。あの時、悲惨な事実を目の当たりにして、日本人は、日本で原発を動かすのをやめにしようと思ったのではないのでしょうか。

● あらたな安全神話が創られる
のではないかとという危惧

私は、昨年の12月議会の被爆線量シミュレーションを巡る質疑での知事の答弁に疑問を持ちました。

議会では、複数の議員が、シミュレーションをするにあたっては福島原発事故並の過酷事故を想定するべきだと知事に対して追及しました。しかし、知事は、「過度な放射線のリスクを考えた避難というのは実効性のある防災計画であるとは言えない」と消極的でした。

知事は、福島原発事故後に策定された新規規制基準をクリアした原発では、福島原発のような過酷事故は起こらないと考えているのではないのでしょうか。

「新規規制基準」という錦の御旗の下に、また新たな安全神話が作り出されようとしているのではないかと危惧します。

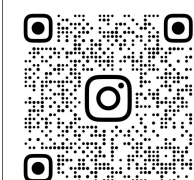
だから、福島原発事故がどうして起こったのか、新規規制基準をクリアした原発は絶対大丈夫なのか、それらを自分の頭で考えたいと思っています。

とりとめのないことをつらつらと書きました。今年の私の抱負と受けとめてください。

今年も皆さんの代表として議会内外で頑張ります。ご支援の程よろしくお願いいたします。

Instagram 始めました

昨年末に議員としてもインスタアカウントを作成しました。これからはSNSの時代。不慣れながら動画などにも挑戦しています。こちら応援と閲覧をお願いします！



KENGIIKAIIN.BABAHIDEYUKI

12月14日～1月3日

● 12月17日 県議会・連合委員会

● 19日 上越文化会館で「県立高校の将来構想（案）」策定の説明会（秘書の荊木が参加）

● 19日 大島区のうしだ屋で「忘年会」（日誌No.48の「コーシー・ブレイク」参照）

● 20日 常任委員会（採決）

● 23日 本会議（採決、閉会）

● 23日 県議会会派「リベラル新潟」の懇親会に参加

● 27～28日 条例制定請求の署名の受任者として地域を廻り署名を集める

● 29日 事務所 で収集した署名簿を届ける（表面参照）

事務所のカウンターでお供え餅と一緒に、今年もよろしくお願いいたします。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp